

特集

決算審査

令和6年度決算を認定しました！

9月定例会・臨時会で提案された令和6年度決算認定議案については、議長および議会選出監査委員を除く26名の委員で構成する決算特別委員会（委員長：二宮仁／副委員長：冠匡晃）を設置し、慎重に審査を行いました。

審査の結果は、12月1日の本会議で報告し、討論、採決の結果、認定しました。

尾道市一般会計・特別会計決算

（単位：万円 ※1万円未満切り捨て）

会計名	歳入済額		歳出済額	
	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
一般会計	684億1,548	657億8,383	677億5,203	650億4,716
特別会計				
港湾事業	1億9,915	2億481	1億8,665	1億9,141
国民健康保険事業	142億7,942	143億735	142億4,113	142億3,610
千光寺山索道事業	8,132	8,252	8,132	8,252
駐車場事業	7,796	7,907	7,686	7,907
夜間救急診療所事業	8,081	8,163	8,081	8,163
介護保険事業 （保険事業勘定）	169億8,745	171億6,063	169億3,774	169億4,921
介護保険事業 （介護サービス事業勘定）	2,160	2,202	2,160	2,202
渡船事業	5,277	6,086	5,277	6,086
後期高齢者医療事業	28億610	25億201	27億4,103	24億4,550

尾道市上下水道事業・病院事業決算

（単位：万円 ※1万円未満四捨五入）

会計名	収益的収支		資本的収支	
	収入	支出	収入	支出
水道事業会計	39億2,592	36億7,582	8億3,268	18億5,203
下水道事業	19億3,548	17億9,069	11億9,330	17億3,125
病院事業会計	142億1,951	146億6,194	6億6,361	13億2,074

代表監査委員に対する質問

問 令和6年度財政状況における経常収支比率の悪化の要因、傾向は。

答 経常収支比率の数値が上昇した主な要因は、市税普通交付税が微減となる一方で、定年等の退職手当や会計年度任用職員の処遇改善による人件費の増加によるものと認識している。令和6年度から公債費の着実な減少が見込まれるが、物価高騰や人件費の高騰などにより大幅な改善は見込みにくい状況にある。そのため、引き続き適正な職員配置や公債費の抑制に努めるなど、経常的経費の抑制に取り組んでいただきたい。

決算全般

問 令和6年度決算の不用額全般に対する財政課の認識は。

答 予算は、年度中の所要額を精査の上調整しているが、歳出予算において、入札に向けた設計金額の確保等、不足が生じないようにする必要がある。加えて、入札の落札率等で不用額が生じる場合もあり、過大でない不用額は、一定程度はやむを得ないものと認識している。

一般会計 歳入

くらし 地域活性

問 御調ソフトボール球場の使用料について、尾道市民と市外利用者、また高校生以下の使用料の違いは。

答 御調ソフトボール球場設置及び管理条例において、尾道市民及び尾道市内に事務所を有する団体以外のものが使用する場合は、尾道市民及び団体と比べ、倍の料金を定めている。また、尾道市内の高校生以下については、使用料が無料となっている。

一般会計 歳出 くらし 地域活性

問 協働のまちづくり事業における町内会活動補助金の1世帯当たりの補助金額を2市3町で同額とする考えは。

答 合併前からの各地域の成り立ちの中で、組織が形づくられた経過がある中、徐々に旧尾道に合わせていくよう、補助金を下げた過去もある。今後も、各地域の実情をしっかりと伺いながら、補助金交付の在り方を調整して取り組む必要があり、来年度の予算反映は難しいと考える。

問 鳥獣防護さく等設置事業について、物価高等を踏まえて助成額を増額する考えの有無は。

答 現在、資材費上昇の動向を確認中であるが、その結果を踏まえて、次年度における助成額の見直しを検討していきたい。

一般会計 歳出 衛生 福祉

問 子育て世代包括支援事業、産後ケア事業の評価、課題は。

答 令和6年度は対象者の条件により利用者数にばらつきがあるが、該当者はおおむね利用できている。課題としては、本事業について、より利用しやすい体制づくりのために、他制度との組み合わせなどを検討し、引き続き対象者のニーズを探していきたい。

一般会計 歳出 教育関係

問 夢と志を抱きグローバル社会を生き抜く子どもの育成事業の事業費が増額した効果として、学力の向上や不登校児童の減少成果は。

答 事業の成果として、令和6年度の全国学力・学習状況調査正答率において全国平均以上の学校の割合が小学校・中学校ともに増えている。不登校については、人数は増加しているものの、欠席した人数が減少している、あるいは学校にいる時間が増えている等、子ども達が学校へ足が向くようになったところで成果が出ている。

国民健康保険事業会計

問 令和6年度の保険料は、一人当たりいくら上がり、基金残高はいくらになったのか。

答 令和6年度と令和5年度の差は1万3,051円の値上げとなっており、基金残高については、令和6年度に2億780万円ほど保険料の引き下げに使用しているので、約1億2,600万円となっている。

下水道事業会計

問 令和6年度の管渠築造工事の実績と完成した管渠への接続はいつからになるか。

答 令和6年度の下水道の管渠延長は約1.5キロメートルである。完成した管渠の正式な供用開始は、令和7年4月以降接続できるが、諸事情で管路ができて完了検査が終わるまでに接続できる先行接続という特例もある。

病院事業会計

問 令和6年度で策定予定だった尾道市立市民病院建設基本計画について、当初予算に計上された950万円に対し、676万5000円が繰り越されているので、その差額の273万5,000円が委託先に支払われたと理解してよいのか。

答 予算は950万円であったが、その後、市で策定されたあり方検討報告で3つの課題整理の提言がなされ、JA尾道総合病院の医療データの分析や資料作成の部分が新たに業務委託することが必要となったため、実際には、令和6年度に1,111万円の契約をしている。その後、変更契約が必要となり、最終の契約額は1,471万8,000円となった。決算年度の業務については、計画策定業務のJA尾道総合病院の医療データの分析をしており、支払った額は795万3,000円で、繰り越した額は676万5,000円となっている。